

緊急事態宣言発令中

20時以降 不要不急の外出はお控えください

緊急事態措置等への疑問・不安の相談窓口

- 東京都緊急事態措置等・感染拡大防止協力金相談センター
☎5388-0567 (9:00~19:00※土・日曜、祝日も実施)
- 江東区危機管理室 ☎3647-9111(代) (平日8:30~17:15)

発熱等の症状がある方の相談・診療先→**まずかかりつけ医に電話相談を**
かかりつけ医がない場合は東京都発熱相談センターへ

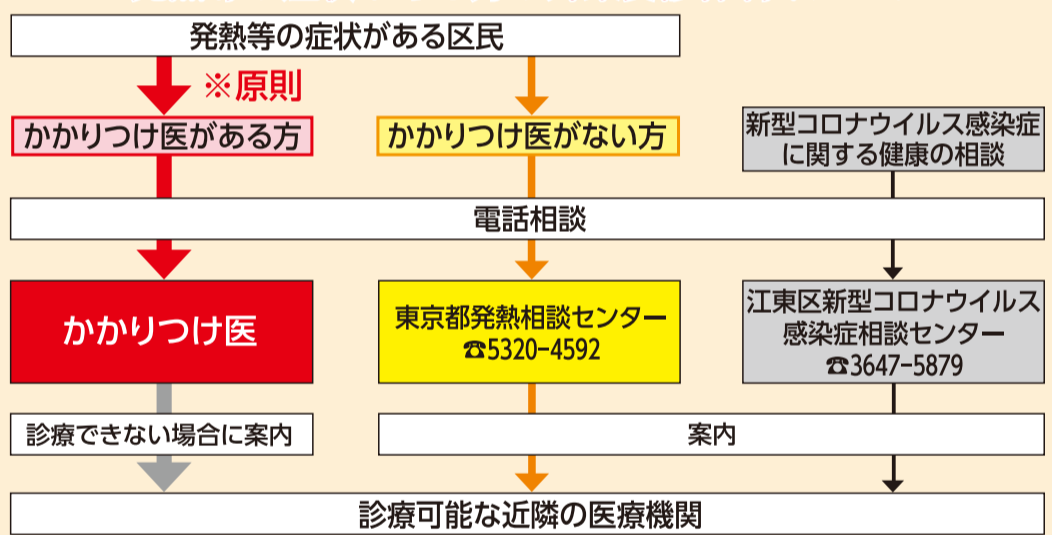
発熱等の症状が生じた際は、次のとおり相談・受診をお願いします。

[かかりつけ医がある方]
かかりつけ医へ電話相談(原則)
※診療できない場合は他の医療機関を紹介

[かかりつけ医がない等、相談する医療機関に迷う方]
東京都発熱相談センター(☎5320-4592※24時間対応)へ
※紹介可能な身近な医療機関をご案内します

江東区新型コロナウイルス感染症相談センター(☎3647-5879)では、新型コロナウイルス感染症に関する健康の相談を受け付けています。

発熱等の症状がある方の外来受診体制イメージ



掲載している情報は1月8日時点のものです。最新の情報はお問い合わせください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

国の新型コロナウイルス感染症対策分科会において「感染リスクが高まる「5つの場面」」の提言がありました。感染リスクに注意し、引き続き手洗い・換気・マスク着用や3密回避など、感染対策の徹底をお願いします。

場面③ マスクなしでの会話

- ・マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- ・マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- ・車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面① 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- ・特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- ・また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- ・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面④ 狭い空間での共同生活

- ・狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- ・仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



区施設の利用について

本庁舎、各出張所の窓口業務は、通常通り行っています。その他の施設では、夜間の貸し出しを中止、または、20時以降の利用の自粛にご協力をお願いしています。詳しくはホームページをご覧ください。詳しくはホームページをご覧ください。詳しくはホームページをご覧ください。

